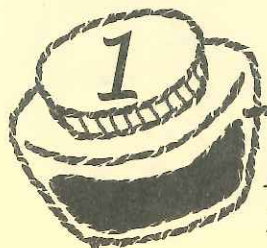




医療法人
春秋会

城山病院 出張公開講座



10月19日(金)
13時00分～14時30分
(受付12時40分～)

心臓血管治療の最前線

血液を身体中に循環させる原動力の心臓、血液を身体中に供給するネットワークたる血管。『心臓と血管による血液の流れ』が私たち人間にとって最も重要な仕組みであることは言うまでもありません。それを侵す様々な病気：弁膜症、狭心症、心筋梗塞、心室細動、心室頻拍、心房細動、大動脈瘤、大動脈解離、急性血栓閉塞、閉塞性動脈硬化症、下肢静脈瘤などなど。耳にしたことのある名前もあると思います。血液の流れを止めないために今現場ではどのような治療が行われているのか？これらの病気の仕組みと心臓血管治療の最前線をご案内します。



【講師】
心臓血管センター センター長/
心臓血管外科
土田隆雄



11月9日(金)
13時00分～14時30分
(受付12時40分～)

乳がんのこと、少し勉強してみませんか？

昨年のはびきの市民大学の講座で扱われ好評であった、乳がんのお話です。今年になっても、話題となることが多いこの乳がんについて90分じっくり学んでみませんか？講師は、昨年に続き、春秋会城山病院の乳腺センター外科の新田先生です。乳腺専門医であり、同病院のがん治療センターの副センター長であります。5月にLIC はびきので羽曳野市初の「ピンクリボン はびきの」にも講師としてお話をしていたところでした。せっかくの機会ですので気軽に乳がんのことを学んでみてはいかがでしょうか？ご参加お待ちしております。

城山病院の新田です。当院で行っている医療のお話を地域の方々にする機会を頂きました。今回は乳がんの話です。ぜひの参加をお待ちしています。



【講師】
消化器・乳腺センター 外科部長/
緩和ケア対策室長
新田敏勝



12月21日(金)
13時00分～14時30分
(受付12時40分～)

脳卒中なんかに負けない

脳卒中は日本人の死因第4位であり、半身の麻痺や言語障害などの後遺症が残ったり、認知症を併発したりします。また寝たきり原因の第1位でもあります。脳卒中は突然起こる脳の血管の病気であり、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血に分類されます。脳卒中治療の基本は早期発見、早期治療であり、予防も可能です。超高齢化社会を迎える私たちにとって目を背けることはできない病気であり、最新の脳卒中治療と予防を知ってもらうことであなたや、あなたの家族の生活を守って欲しいと思います。



【講師】
脳・脊髄・神経センター センター長/
脳神経外科
島野裕史



1 講義ずつのお申し込みが可能です。

- 【場 所】 LIC はびきの内施設
- 【定 員】 各60人 ※先着順
- 【受講料】 各500円(当日支払)
- 【申込方法】 来館・電話・FAX
- 【申込期間】 9月12日(水)～各講義日の前日



はびきの市民大学



〒583-0854 羽曳野市軽里1-1-1 (LIC はびきの内)
【TEL】072-950-5503 / 【FAX】072-950-5650
1階受付 9時00分～17時30分
※閉室は祝日・振替休日・年末年始のみ
ご提出いただきました個人情報につきましては、羽曳野市個人情報保護条例(平成12年羽曳野市条例第43号)に基づき適切に管理いたします。
※障がいへの配慮が必要な場合は事前にご相談ください。
※駐車場(有料)には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

死生観について考える

大阪大谷大学連携講座

前近代社会において、「生」と「死」は分かち難いものとして強く意識されていたと思われます。本講座では、歴史学・美術史学・考古学それぞれの立場から、主に原始・古代・中世社会における「死生観」の諸相と変容について、わかりやすく解説します。

〈講座スケジュール〉 ※1 講義ずつのお申し込みが可能です。

11月4日(日)	古墳時代の死生観 - 死から埋葬、葬送に至るまで - 〈講師〉 大阪大谷大学文学部歴史文化学科 教授 犬木努
11月11日(日)	東アジア仏伝美術と「孝」 - 死生観を考える一側面として - 〈講師〉 文化庁 文化財調査官 田中健一
11月18日(日)	お迎いの信仰 - 古代中世社会における死生観の一側面 - 〈講師〉 大阪大谷大学文学部歴史文化学科 教授 梯信暁

〈時間〉 10時30分～12時00分(受付10時10分～) ※全日程共通

〈場所〉 LIC はびきの内施設

〈定員〉 各60人

〈受講料〉 各500円(当日支払)

〈申込方法〉 来館・電話・FAX

〈申込期間〉 10月2日(火)～各講義日の前日

